

尾張徳川家はいかに將軍家に奉仕したか

豊富な図で読み解く尾張徳川家の献上品リスト

史料纂集 古記録編 第219回配本

れいもつきしき 礼物軌式

徳川林政史研究所編
深井雅海・藤田英昭校訂

『礼物軌式』（徳川林政史研究所所蔵）とは

尾張徳川家より、徳川將軍家への献上物（時献上）の仕立方について、文化13年（1816）時点の情報を図解入りでまとめた書。春・夏・秋・冬の各1冊、附録の1冊で全5冊の構成である。春・夏・秋・冬は徳川將軍家への献上物を解説し、附録は尾張家の奥から將軍家への献上物について解説する。

2023年12月12日刊行 定価17,600円（本体16,000円＋税）

（A5判・上製・函入、234頁・カラー口絵8頁 ISBN978-4-8406-5219-3 C3321 ¥16000E）

【収録】

〔史料〕 礼物軌式 春／夏／秋／冬／附録
〔解題他〕 「礼物軌式」の来歴と編集方針（高橋喜子）
江戸における献上品調達（宮澤歩美）
知多郡師崎村の産物（萱田寛也）
品目一覧・品目索引

〔本書の魅力〕

① 江戸時代の贈呈品の実態を知る好史料

江戸時代、天下泰平の世にあって、大名家は自藩の存在を喧伝するため、四季折々に領内で獲れた物産などを徳川將軍家に献上した。明和2年（1765）の『武鑑』によると、258家の大名家から「時献上」として献上された品目は、実に1922品に及ぶ。本書「礼物軌式」は、文化13年（1816）5月の成立で、尾張藩士の編纂にかかる。尾張徳川家の音信贈答に関係した役人たちが、手控・備忘のために編纂したものであり、春11品、夏9品、秋16品、冬8品、その他18品の計62品が彩色絵入で収録されている。

② 尾張国内・美濃国内の産物を知る好史料

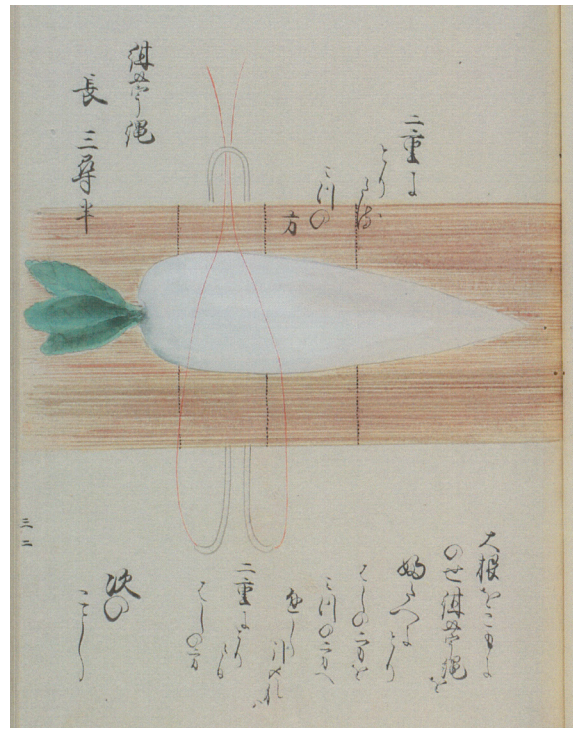
尾張徳川家はどのような品々を徳川將軍家に献上していたのか。東海地方ならでの産物が、複雑かつ厳格な手続きを経て江戸まで運ばれていた。図を見ると包み紐の結び方や長さまでもが細かく決められていたことがわかる。將軍への献上物に地域の人びとがいかに関わったのか、その一端が明らかとなる。

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8
Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

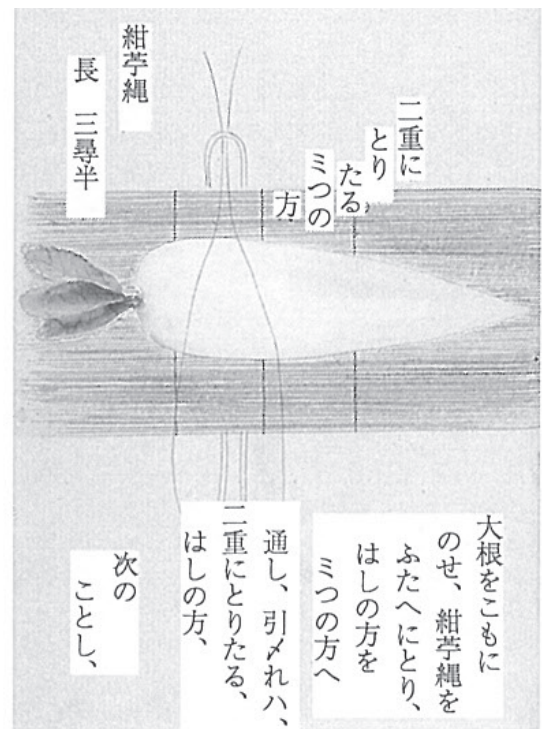
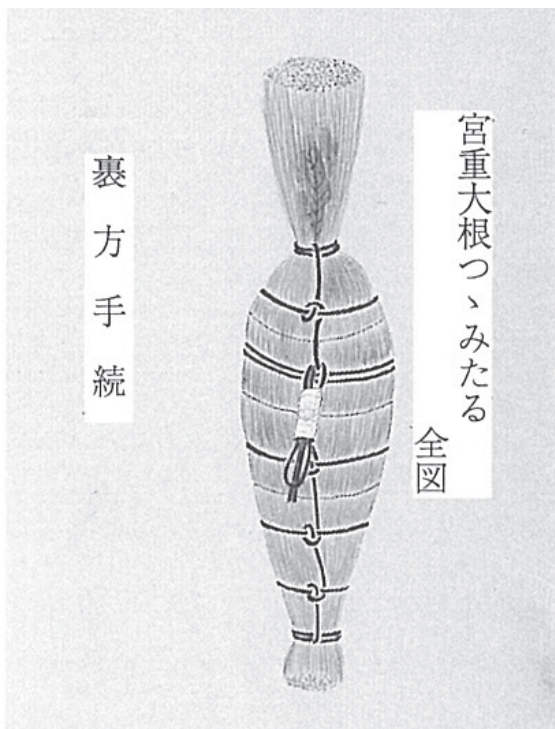
礼物軌式の原本

『礼物軌式』秋・宮重大根のつつみ方
本書「口絵」にも所収



史料纂集の本文

崩し字を翻字して掲載



申込書	徳川林政史研究所編／八木書店刊 深井雅海・藤田英昭校訂		2023年12月12日刊行		取扱店（番線印）	
	礼物軌式 （れいもつきしき）		〔 〕冊			
	ISBN978-4-8406-5219-3 C3321 ¥16000E 定価 17,600円（本体 16,000円+税）					
	お名前（ふりがな）		TEL			
ご住所 〒		FAX				
		E-MAIL				